

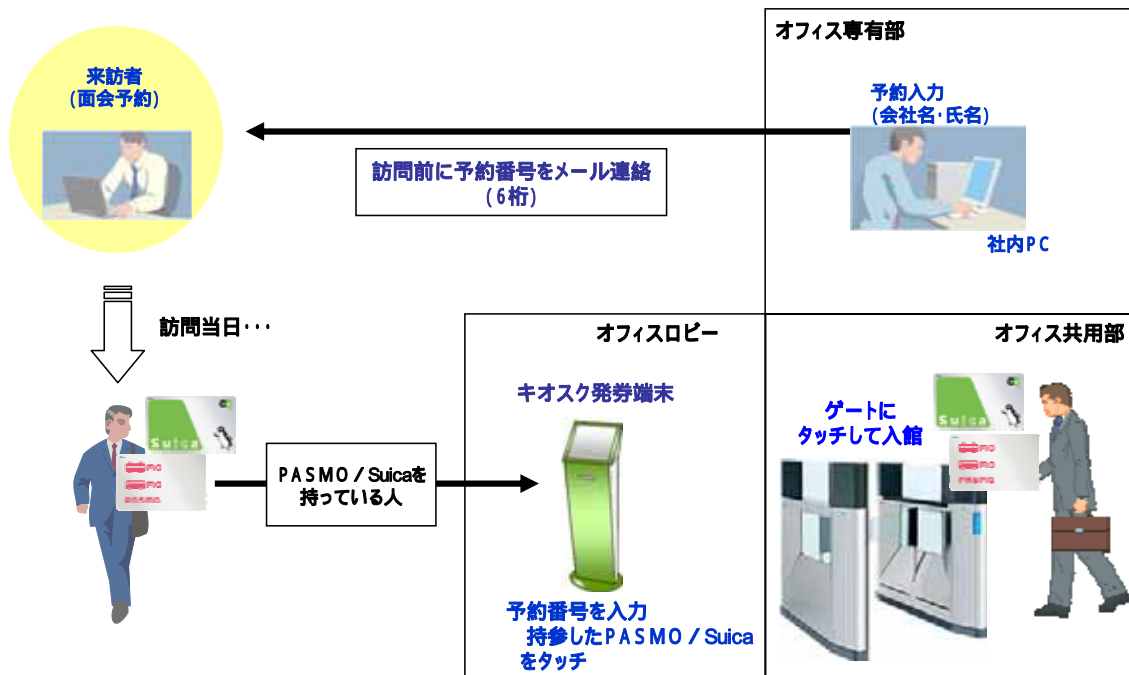
「ビル来訪者受付システム」がPASMOに続き Suica でも対応を開始します

東急セキュリティ株式会社

東急セキュリティ株式会社（東京都世田谷区、代表取締役：波戸覺）は、オフィス来訪者が所持するPASMOをビル入館用カードとして利用できる日本初の「ビル来訪者受付システム」を開発し、2010年10月「東急キャピトルタワー」に初めて導入しました。これまでビル来訪者受付システムは交通系ICカードPASMOに対応していましたが、今後はPASMOに加えSuicaでも対応が可能になります。

同システムは、来訪者が日頃から利用しているPASMOやSuicaをそのままビル入館カードとして登録、利用するものです。有人受付業務の省力化に繋がるとともに、受付待ちによるロビー混雑の緩和にも寄与する先進的なシステムです。

【システムイメージ】



東急セキュリティは、今後、幅広くビル開発運営事業者に対し、トータルコスト削減、テナントユーザーの利便性向上、テナントリーシングの優位性などをPRし、同システムの販売を促進いたします。

本システムは、東京ビッグサイトで2011年3月8日から3月11日まで開催される第19回セキュリティ・安全管理総合展“SECURITY SHOW 2011”に参考出展されています。

本システムの詳細は別紙の通りです。

【別紙】

「ビル来訪者受付システム」の特長

(1) 来訪者事前予約機能

来訪者から訪問の連絡を受けたテナントユーザーがPCにて本システムへアクセスし、来訪予約情報を入力することで、予約番号通知メールが来訪予定者に自動送信されます。これにより、テナントユーザーは面倒な有人受付への事前連絡の必要がなくなります。

(2) 無人受付端末による入館登録機能

来訪者は来館当日、無人受付端末に事前発行された予約番号を入力し、PASMO / Suica の登録を行います。これにより、受付業務の省力化を実現します。

PASMO / Suica を持っていない来館者には入館カードを発券します。

(3) セキュリティゲートとの連動機能

登録されたPASMO / Suica の情報は、セキュリティゲートのカードリーダーへリアルタイムに転送されます。これによりPASMO / Suica をカードリーダー - にかざしてセキュリティゲートをそのまま通行することができます。

(4) カード権限管理機能

PASMO / Suica および貸出し入館カードは、無人受付端末からの発券時に入館権限を付与されますが、登録された権限は設定により自動剥奪し、再度入館ができないようにすることができ、不正利用防止が可能です。

Suica は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

JR 東日本 Suica 利用承認第 37 号

当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なく Suica カードが交換されることがあります。

PASMO は株式会社バスモの登録商標です。

株式会社バスモ商標利用許諾済 第 6 号（東急セキュリティ株式会社 許諾）

PASMO マーク  及び **PASMO** は株式会社バスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

株式会社バスモの都合により予告なく PASMO カードが交換されることがあります。

以 上